

Weekly Report

テーマ／新年度方針発表

■日 時／2010年7月1日(木) 19:00~20:00 ■場 所／カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-11年度国際ロータリーテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

2010-11年度クラブ運営方針

「与え続ける心を持とう」

会 長：青木 昭憲
副会長：田中 利幸
幹 事：岡田 浩人
例 会：毎週木曜日
会 場：カトリック布池教会内聖ヨゼフ館
住 所：名古屋市東区葵1-12-23
電 話：052-935-7790

第236回例会 (第1回)

例会出席率

今 回 (7/1)		前 回 (6/17)		前々回 (6/10)	
会員数	26名	会員数	27名	会員数	27名
出席数	19名	出席数	12名	出席数	11名
欠席数	7名	補填数	8名	補填数	7名
出席率	73.1%	出席率	74.0%	出席率	66.7%

斉唱

ロータリーソング『奉仕の理想』

ビジター紹介

本日はいらっしゃいませんでした

今月のお誕生日

4日 柴田 真由美 さん 14日 谷口 善彦 君

次回例会案内 (第4回)

- 開催日時／2010年7月 8日 7:30~
- 開催場所／カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館
- テ - マ／メンバー卓話：野村尚史

ニコボックス報告

年間予算	前回までの累計	本日
450,000円	0円	23,000円

青木君 いよいよ6年目のスタートです。
みなさま宜しくお願い申し上げます。

岡田君 新年度よろしくお願ひ致します。

越野君 新年度よろしくお願ひ致します。

野村君 青木会長、よろしくお願ひします。

石原君 青木会長、よろしくお願ひします。

村上君 青木会長、一年間よろしくお願ひします。

前崎君 新年度のスタート！楽しい一年でありますように！

大門君 いいかげんに頑張ってください。

田中君 一年よろしくお願ひします。

丹羽君 (皆さんと同じ)

吉村君 青木さん・岡田さん1年宜しく御願ひします。

藤田君 1年よろしくお願ひします。

会長

青木昭憲



名古屋葵ロータリークラブも、多くの皆様に支えられ、節目となる5周年を無事終える事ができました。

今年度は、「リスタート」また次なる節目への新たなスタートの年と位置づけ、一人一人が一人前のロータリアンとして活動してゆける組織、仕組みを強化して参りたいと考えております。

今年度の国際ロータリーテーマ「地域を育み 大陸をつなぐ」は国際ロータリー会長レイ・クリンギンスミス氏が、今までのようにロータリアンだけでシェアするのではなく、それ以外の人々にロータリーの目的、素晴らしさを理解していただき、ロータリアンにはロータリーの原則の重要性を再確認してもらう事を目的として掲げられました。それに基づき第2760地区では田嶋好博ガバナーが「クラブに夢と活力を」と方針を打ち出され、

「毎日が職業奉仕」「ITの活用」「メイクアップは例会に出席して」と3つの具体的指針を発表されました。混沌としたこの時代に必要不可欠なテーマであると共感すると共に、「葵のメンバーは常に前向きで、いつも明るく笑顔でいたい」本当にそうありたいと心の底から思いました。

組織の最終目標は「存続」です。現在の葵クラブにとっては会員増強が最も大きな課題ではありますが、これからの人間関係がきつと未来の葵クラブの発展につながると信じて、今はあせらずじっくりと個々の人間性を育み、共に歩んで参りましょう。

- [1] 全員参加の例会運営 (役割分担を徹底)
- [2] リーダーシップ・フォロワーシップの実践
- [3] 職業奉仕 (仕事があってロータリーがある事を忘れない)
- [4] 親睦行事の強化
- [5] 卓話の充実 (専門性・独自性・夢)
- [6] 会員増強

クラブ奉仕委員会

加納伸康



- 【1】例会の充実と出席率の向上
 - ・例会出席率80%を常に維持することを目標とする。
 - ・卓話の担当者に十分な事前準備をお願いし、例会内容の更なる充実を図る。
 - ・メーカーの必要性を改めて周知し、メーカーがしやすい環境を整備する。
 - ・他クラブの例会へのビジター出席励行。

【2】会員増強

- ・会員数の着実な純増を図る。
- ・入会可能性のある人の推薦依頼を会員に継続的に求めていく。
- ・Webサイトの更なる充実を図り、対外アピールとしても積極活用していく。

【3】親睦活動

- ・例会予定表に記載がある親睦行事を企画運営する。
- ・クラブWeeklyの定期発行を徹底する。
- ・他クラブ、他団体等との親睦・連携を推進する。

【4】ロータリー研修

- ・ロータリーの綱領・理念等についての理解を深めるため、研修・講和等を通じて情報の提供に努める。
- ・新入会員のオリエンテーションの一層の充実を図る。

【5】例会補佐・クラブ連携

- ・幹事と連携し、スムーズな例会運営の補佐をする。
- ・担当月以外も他の委員会と連携をとり、幹事の補佐に努める。

【6】C I C O

- ・年間を通しホームページの管理・運営を着実にしない、会員利用を促進する。

- 【3】 「四つのテスト」の唱和を毎月1回実施する。
- 【4】 定例委員会を月1回以上開催する。
- 【5】 委員会内での例会担当を分担する。
- 【6】 健康診断を積極的にうける。

社会奉仕委員会

越野安彦



会員一人一人が社会奉仕について学び、会員全員で参加できる地域に密着した活動の計画、さらには単発ではなく継続性のある奉仕活動を通して、地域の志ある人への入会へのアピールにもなり、会員増強への一歩にも繋がると考えます。

- 【1】 CAPNA (子供の虐待防止ネットワークあいち)への協力を継続します。

- 【2】 地域会社における奉仕の必要性を探求し「この私に何が出来るのか？」から、議論し展開する。
- 【3】 委員会を月1回以上開催し、会員と理解を深め、担当例会を運営する。

国際奉仕委員会

吉村剛信



「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する。」というロータリーの基本方針にのっとり、昨年より更なる会員の理解促進に努める。又、6年目を迎えるに当りクラブ独自の国際奉仕活動を行うよう努める。そして、会員の相互親睦の活性化を図って参ります。

- 【1】 国際奉仕活動の4分類(WSC・米山記念・財団)の認識促進
- 【2】 財団・米山記念奨学金への協力の推進。
- 【3】 近隣在住外国人との交流を通じて国際理解を深める。

新世代委員会

加藤久雄



ロータリー新世代プログラムを担う委員会として、次世代の若い指導者を育成するために、ロータリーの原点(目的)を知ってもらいたい。

- 【1】 プログラムに関する基礎知識、目的の理解。
- 【2】 各プログラムに若さを活かし、率先して参加する。

- 1) インターアクト・・・インターアクトを提唱する他クラブの活動に参加する。
- 2) ローターアクト・・・名城RACの例会および活動に積極的に参加し、運営の援助をする。
- 【3】 上記【1】【2】の活動を通して、奉仕の心を育むよう努める。またその経験をクラブにフィードバックし、会員の新世代プログラムに対する理解を深める。
- 【4】 来期以降の活動を充実させるための体制を早期に整えて起動させる。

会場監督(SAA)

山田真



会長方針である「与える心」を持って、会員が参加したくなる有意義でメリハリのある例会運営につとめ、出席率100%例会の実現を目指す。

- 【1】 規律正しさと和やかさを兼ね備えた例会運営をする。
- 【2】 開会の3分前に予鈴を鳴らし、時間厳守の意識を高める。

- 【3】 卓話時間を拡充させるため、事務的な報告の時間を短縮。
- 【4】 ビジターと会員が親睦を深められるよう、一部に指定座席を設ける。
- 【5】 各委員会主催の行事や例会にも積極的にかかわり、運営のサポートをする。

職業奉仕委員会

村上政喜



職業奉仕はロータリークラブと会員両方の責務である。本年度会長方針「与え続ける心を持つ」に従い他の委員会と協議しながら、職業を通じて社会に奉仕するため奉仕の理念・精神が発揮できる機会を目指す。

- 【1】 年度内、2回の職場訪問例会を実施。
- 【2】 会員の職業に関する卓話を中心に担当例会を運営する。